

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和5年9月22日(金)
午後1時30分から午後2時13分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 会長あいさつ
- 8 協議事項

(1) 今後の行政視察の受入れについて

片岡会長：資料に基づき説明。受付順にチームを割り振っているので連日の対応になっているところもある。

水野議員：他の公務と重なり人数が少ない日もあるが調整は必要ないか。

片岡会長：議員が少ない日もあるが出られる方で対応する。議長か副議長は必ず対応する。調査項目については、分かり次第担当チームにメールしていく。

(2) 今後の意見交換会について

片岡会長：資料に基づき説明。若者との意見交換会は議員も参加者募集に協力を。また、11月の議会だよりに掲載できないか事務局に打診した。11月17日の市民団体との意見交換会に出席できない議員はいるか。須藤議員は欠席。塚崎議員は未定。また分かり次第教えてほしい。

(3) 議会サポーターの定員について

片岡会長：定員を無くしてはどうかと意見があった。しかし、無くした場合に運用の規定を変えていかなければならないので、只今精査中で、事務局と相談しながら作成中。見直す中で他にも変更した方が良い箇所があったため、もうしばらくお待ちいただきたい。

(4) 「市議会サポーターの声」の声について

片岡会長：資料を配布した。いずれも回答不要だったため報告に留める。

(5) 岩倉市防災訓練について

片岡会長：9月24日の防災訓練に議会としての参加はなし。議会独自の訓練として、LINEワークスのアンケート機能を利用して安否確認の訓練を行いたい。LINEがあればどこでもできるため、日時はこちらで決

める。

議会事務局長：市の防災訓練が日曜に行われるが、事務局としても市のBCP訓練に参加することとなった。せっかくなのでそれに合わせて安否確認を発信していきたい。予定としては8時半過ぎから行いたい。

片岡会長：では9月24日の8時半頃に通知が届くと思うのでアンケートに回答してほしい。訓練だが、誰が回答していないか事務局で分かるので、全員がしっかり回答できるようにしてほしい。すぐは難しいかもしれないが、可能な限り早く回答してもらいたい。回答がどれぐらいで集まるかの調査もしたいため、協力をお願いする。

大野議員：今後LINEワークスで安否確認を行うということならば、議会BCPを直さないといけなくなる。

片岡会長：ご指摘感謝する。今後本格的に取り入れていくことになれば考えないといけない。確認しておく。今回はあくまでも訓練として1度やってみる。

(6) 議会講演会について

片岡会長：前回、防災をテーマとした講演会を開催してはどうかと提案したがどうか。

鬼頭議員：8月に研修へ行ったが、名古屋大学の防災減災センターの武村教授の話が良かった。来てくれるかどうかは分からない。

片岡会長：後ほど詳しく教えてもらいたい。

大野議員：名古屋大学の福和名誉教授は有名。厳しいが、江南市議会は一度呼んでBCPのチェックを受けている。

片岡会長：候補として検討する。また報告する。

関戸議員：日程の希望を聞いておいたほうがいい。

片岡会長：希望はあるか。

大野議員：今から講師に依頼すると4か月後になるので1月末ごろになるのでは。

片岡会長：それぐらいの時期を目途に依頼する。

(7) 互助会での視察先について

片岡会長：前回、友好都市である福井県大野市はどうかと提案したが、他に候補地はあるか。

鬼頭議員：8月に研修に行ってきた安城市の高校生議会を立ち上げた人から話を聞いてきた。県内で近隣であるし、良いと思う。

須藤議員：市のバスを出すのであれば、安城市では近すぎるのでは。

片岡会長：確認する。大野市では遠すぎる可能性もある。規則があり、調べておく。時期については1月ごろになるか。

関戸議員：1月に大野市は雪があると思うので、それであれば安城市のほうが良いのではないか。

大野議員：愛知県内であれば、1番高校生議会が進んでいるのは知立市なので、そちらが良いのでは。近いのでセットで行っても良いと思う。

片岡会長：バスの件や時期も含めて検討する。

(8) 普通救命講習会について

片岡会長：改選前に議会で受講した。まだ3年経っていないが、改選もあったので、再度全員で受講したいがどうか。

梅村議員：希望者でいいか。

片岡会長：もちろん希望者だ。個々に受けられても良い。ひとまず市議会として申込しようと思っている。2月頃で調整し、次回までに候補日を示す。

梅村議員：更新の時期はいつなのか。

片岡会長：更新というものはないが、目安として2年から3年後に受講すると望ましいとのこと。

関戸議員：2時間ぐらいで終了するか。

片岡会長：それぐらいだった。

(9) その他

塚崎議員：市民から議会報告会を対面で開催してほしいと言われている。前回難しいということで終わっていると思うが、検討いただけないか。

大野議員：前回、視察等で10月、11月の日程調整が難しい状態にあるとして、2月から行うということに決まらなかったか。

関戸議員：その通りで、できればやった方がいいと思うが、今回は日程調整が難しいので、2月ということをお願いしたい。市民にもそうお伝えいただきたい。

塚崎議員：議会からの報告を聞きたいということ。対面で聞きたいという希望。

関戸議員：対面で行う。対面を避けるわけではない。日程調整の問題。

片岡会長：9月定例会の前にいつもやっていたのか。

大野議員：政策提言がまとまったぐらいのところで行っているが、政策提言もまだまとまっていないところで日程を決めるのが難しい。

塚崎議員：本来はやるべきと決まっていることをコロナという理由もないのになぜやらないのかという市民からの声だった。

片岡会長：本来はやるべきではという意見だった。議会基本条例にも明記されているということを言っていると思う。

関戸議員：おっしゃる通りだが、市民の方はどのような目的か言っていたか。

塚崎議員：議会からの報告を聞きたいとのことだった。

関戸議員：決算についての報告を聞きたいということか。

塚崎議員：市民の話を代弁すると、時期がずれてもいいのでやってほしいということだった。

梅村議員：その市民の人は市民団体等ではなく個人か。

大野議員：市民文化祭やふれ愛まつりで土日開催はほとんど難しい。本来は開催すべきだと自分も思っているが、2月からということで全員納得したのだと思うが。どちらにしても政策提言のこともパブリックコメント形式で募集するのではと思う。2月から必ず半年に1回やっていくという方向性でどうか。

片岡会長：塚崎議員、そういうことでお伝えいただきたい。正直なところ準備ができていなかった。貴重な意見であった。決めたことはしっかりやっていけるよう2月からしっかり進めていきたい。

梅村議員：議会報告会を開催するには、何を報告するか決めることが肝要。今までは、予算審査の前に予算案を報告したり、決算が終わった後、次の当初予算に議会として提案したいことを報告して意見をもらったりしている。委員会の視察の報告をしようとか。議員個人ではなく議会の報告なのでそこに気を付けないといけないが、議会として何を報告したらいいか、良い案があれば教えてもらえると助かる。

片岡会長：2月は予算。当初予算が出てくるので、例えば新規事業について意見をいただいて、次の質疑に生かしていくというようなもの。報告会という名前ではあるが、一方的に報告するわけではなく、意見交換会。予算に関わることではなくても、議会として報告して意見をいただきたいことが他にあればそういうテーマでも良い。

木村議員：ふれあいトークの実施要綱が103ページにあるから、その中に議会報告会について書いてあるので、その内容でやるというもの。なぜ予算決算の時期にやっているかというのと、決算の時に主だった議論を紹介し、そのうえで予算に反映させるというひとつの方法。もうひとつは、予算が決まったらそれを市民に示して、意見をもらって反映させるというもの。改選があって3年間やっていなかった時期もあって、再開する時期をどうするかということだと思うので、2月からということで前回合意したと思っている。原則2回やるということだが、休んでいた報告会をいつ再開するかという問題だと自分は捉えていた。

9 その他

片岡会長：A 4 資料に今後の予定がまとまっているのでこちらもご活用いただければと思う。

須藤議員：議会運営委員会で、反問権はここで諮ることとなった。次回なら次回でいいが、どうするか。

片岡会長：正副会長で整理する。